

令和3年度学校評価実施状況報告書

1 学校評価の流れ

年度当初に「教育方針」の理念、教育目標、重点項目を踏まえて、それらの実現に向けて各校務分掌・学年団・教科・学科がそれぞれ重点目標と具体的方策を設定した。評価にあたっては、自己評価としてそれぞれの重点目標がどの程度達成できているかを問う形で、2回の評価を行った。10月に上半期における取組に対する中間評価を行い、2月下旬には下半期を加えた年間評価を実施した。保護者からの評価や教員間での相互評価を得るために、12月に保護者および教職員を対象にそれぞれアンケートを実施した。

それらの集計結果等を参考に、2月下旬には各校務分掌・学年団・教科・学科が今年度の成果と課題を総括し、来年度に向けての改善策をまとめた。また、2月中旬の学校評議員会（学校関係者評価）は開催できなかったが、資料を送付して学校の取組に対する意見・感想をいただき、今年度の学校評価を終えた。

《学校評価年間計画》

	生徒	保護者	職員	学校評議員
4月				・委嘱
5月	・授業評価の項目検討	・PTA総会（中止） （前年度評価結果）	・学校評価 年間計画策定 ・学校自己評価 重点目標等策定	
6月				
7月	・授業評価 ・学校生活に関する 調査（第1回）	・学級懇談会 ・教科書選定 （PTA役員代表）	・授業評価分析	・第1回学校評議員会 （学校評価年間計画） ・教科書選定 （学校評議員代表）
8月				
9月	・授業評価報告	・総合祭（中止）		・総合祭（中止）
10月		・学校教育評価 項目検討	・学校自己評価 （上半期）	
11月		・公開授業アンケート		・公開授業アンケート
12月	・学校生活に関する 調査（第2回）	・学級懇談会 ・学校教育評価実施	・学校教育評価実施	・学校関係者評価 項目検討
1月	・インターンシップ アンケート（中止） （総合学科1年）			
2月	・インターンシップ アンケート（中止） （工業科2年）	・学校教育評価 結果報告 （PTA理事会）（中止）	・学校自己評価（年間） ・成果と課題、改善策 の取りまとめ	・第2回学校評議員会 （学校関係者評価） （中止 送付資料等 により評価）
3月				

2 評価結果のまとめ

(1) 学校自己評価結果

各校務分掌・学年団・教科の今年度の取組に対する自己評価結果は、年間では、3＝「だいたいできている」が多かった。総務部、生徒指導部、1年団、2年団が2＝「少しできている」と評価が低い。昨年に引き続きPTA活動がほとんどできていないことや、生徒の出席停止、欠席や遅刻が多かったことが影響していると考えられる。また、10月時点の中間評価では特別活動部、保健環境部、教育情報部に加えて5つの教科・学科で評価は「2」であった。これも通常の行事や活動ができていなかったことが主因であるが、2学期のスタートが2週間ほど遅れたことも影響していると思われる。本年度は4＝「よくできている」が皆無であることから思いどおりの教育活動ができておらず、全体的をとおして評価は高くないが、年間では中間評価から向上している分掌、教科・学科が多いことや、ほとんどが「3」の評価であることから、概ね当初の目標を達成したと言える。

(2) 学校教育評価（保護者アンケート）の分析と考察

昨年度と同様に、校務分掌、学年団の取組について、すべての質問項目に対して、A＝「そう思う」、B＝「だいたいそう思う」の肯定的な回答がほぼ8～9割であった。E＝「判断ができない（わからない）」の回答も昨年度と同様に多かった。昨年度からメール配信システムを導入して、ほとんどの保護者に利用していただいているが、コロナ禍で学校の様子が保護者に伝わりにくい面がある。いただいた意見の中に、生徒へのタブレットでの連絡と同様に保護者にもインターネットを利用した連絡の要望が複数あった。連絡方法をさらに工夫して学校の取組の内容が保護者に伝わるようさらに努めたい。

今年度も省力化、省資源化のためにアンケートをインターネット上のWeb入力で行い、教員の集計業務は省力化できたが、回収率が60%と低かった。

(3) 学校教育評価（教職員アンケート）の分析と考察

昨年度、業務の効率化や簡素化を中心にマイナス評価が減少し、ほとんどの項目で評価は向上したが、本年度はさらに評価が上がった。昨年度にマイナス評価が比較的多かった校内人事や校務分掌についての評価も数値上は向上した。分担の偏りが以前より少なくてできたことや、行事や様々な教育活動が例年どおり行われていないことで職員の負担感が下がったためと推察できる。しかし、教職員からの意見では、これまでと同様に仕事量の偏りの指摘が複数あった。

また、ICT活用が進むことによる急速な変化への対応の難しさや、職員間の連携や共通認識についての意見があった。

(4) 学校関係者評価

- ① 保護者アンケートでE＝「判断ができない」評価が多いことやアンケートの回収率が低いことの指摘があった。
- ② 3年生の進路目標や達成の評価が上がっていることや、教職員アンケートの評価が昨年度より全体的に上がったことを評価していただいたが、教職員の負担の軽減や均一化についての指摘もいただいた。
- ③ 小学校でのあいさつ運動への参加、校内外でのあいさつや高校生らしい応対について感謝やお褒めの言葉をいただいた。教職員アンケートから、教職員の意思統一やまとまりについてのご意見をいただいた。
- ④ 行事を取りやめるのではなく、安全を考えた上でできるだけ実施することと、生徒たちが安心して勉強やスポーツに取り組める学校づくりへの期待をいただいた。

3 次年度の課題

- ① 昨年度より保護者向けメール配信システムを利用しているが、学校からの情報をより確実に、分かりやすく保護者や地域の方に伝えるためにさらに工夫が必要である。
- ② 保護者アンケートはWeb入力を継続したいが、回収率の向上を図る必要がある。
- ③ 1年生の入部率が低くなっていることなどから部活動の活性化が課題である。
- ④ 教職員の業務量はまだまだ多く、特に一部の教職員の負担が過多であると思われる。さらに、業務の効率化や、簡素化等を進めなくてはならない。